

LPガスCP情報(2015年6月積み)

1. 6月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン405^{ドル} (前月比 -60^{ドル})

ブタン 440^{ドル} (前月比 -35^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油市況、石油製品市況が上昇するなか、LPガススポット市況は需給緩和を受けて軟化した。プロパンは不需要期、米国、アフリカのアーブ玉が大量にスエズ以東に流れ中東市場は需給緩和感が強く、CP先物市況は軟化傾向が続いた。第3週にはトレーダーによる引き合いが強まったものの、第4週にサウジアラムコが6月積みFOBスポット玉(44千^{トン}・P:B=33:11)を入札、プロパン405^{ドル}、ブタン440^{ドル}で落札され、先物指標も軟化した。ナフサが原油市況に連れ高、ナフサ高ブタン安でアジアの石化用ブタン需要期待でプロパン安ブタン高のスプレッドは拡大した。期先は6月がボトムで7月以降コンタンゴ(期先高)。また、極東CFRはフレートが上昇し第3週で上昇する場面もあったが、第4週でプロパン500^{ドル}、ブタン540^{ドル}と軟化、ネットバックでディスカウント市況が続いた。なお、フレート市況はインドでの滞船、米、アフリカ積み玉の船舶需給が堅調で続騰した。バンカーオイルは原油市況に追随、5月月間平均390^{ドル}と前月比42^{ドル}の上昇。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格はプロパン在庫の増加で続落し、1日の282^{ドル}から26日には202^{ドル}まで下げた。第4週のNWE(北西ヨーロッパCIF)はプロパン350^{ドル}、ブタン390^{ドル}に下落した。

6月CPは前年同月比プロパン430^{ドル}、ブタン395^{ドル}の下落。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン20、ブタン15ポイント下落、前年同月比ではそれぞれ16ポイント、ブタン9ポイント低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	100	101	107	111	105
CP先物指標:P	440	440	435	410	431
CP先物指標:B	460	460	465	450	459

② 原油市況等

原油市況をみると、WTIは5月59^{ドル}台でスタートし29日は60.30^{ドル}と堅調に推移した。米国原油在庫が4月に過去最高を更新するなど世界的供給過剰感が市況を圧迫したが、EIA統計で米原油在庫が4週連続で減少、原油生産量も減少に転じ、供給超過縮小の期待、サウジ等有志連合によるイエメン空爆再開やISによるイラクの都市制圧などの地政学上のリスクもあり市況を下支え。一方、NYMEXでは上旬にWTI総取組高が178万枚と昨年7月以来の水準に増加、大口投機の買越残高は26日に34.8万枚まで急増した。

○5月積みアラビアンライト(5月1~29日)は62.986^{ドル}(前月比+5.28^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン516.42^{ドル/トン} ブタン509.34^{ドル/トン}

AL比 プロパン78.42% ブタン86.39%

2. 2015年6~7月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	122.64	49,669	53,962	-6,300	-3,200
26~25日②	120.91	52,600	55,300	-3,200	-1,700
1~30日③	121.75	53,000	55,700	-2,800	-1,300

*TTS平均は①が5月16日~5月29日まで、②は4月26日~5月25日

③は5月1~29日、①は7月仕切への影響、②~③は6月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。